

振 興 拠 点 地 域 同 意 基 本 構 想 の 概 要 (平成19年4月現在)

構 想 名	対 象 地 域	開 発 整 備 の 方 針	重点整備地 区
三重ハイテクプラネット21構想(三重県) (平成3年1月18日同意)	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市等5市5町 (総面積約11万ha)	鈴鹿山麓研究学園都市を中核として、バイオテクノロジ、新素材、環境保護技術等に関する研究開発機能及びこの機能を支援する交流、研修等の研究支援機能の集積、充実を図る。	鈴鹿山麓リサーチパーク等6地区
オホーツク科学文化交流拠点構想(北海道) (平成4年12月21日同意)	紋別市等1市1町 (総面積約10万ha)	オホーツク地域の特性を生かし、 ①流水に関連する応用技術開発機能 ②オホーツク文化に関連する研究交流機能等の集積により、オホーツクに関連する科学・文化交流の拠点を形成する。	オホーツク流水ゾーン等2地区
高知バイオフィット生活文化圏構想(高知県) (平成5年1月20日同意) (平成7年8月29日変更同意)	高知市、南国市、土佐市等5市6町2村 (総面積約15万ha)	木材、和紙、花き等に関する既存の集積を生かし、「人々の生活活動や産業活動と自然の生態系との調和を図りながら質の高い生活文化を創造する(バイオフィット)ための研究開発機能、人材育成機能、交流機能等の集積を図り、自然と調和した生活文化を創造する特色ある産業振興の拠点を形成する。	嶺北地区等4地区
東濃研究学園都市構想(岐阜県) (平成5年3月29日同意)	多治見市、土岐市等3市 (総面積約4万ha)	極限環境をテーマとした世界的水準の研究機関をはじめ先端技術に関する先進的な研究開発機能の集積を図るとともに、立地する研究機関における研究開発等によってもたらされた新たな技術、情報等の成果の地域産業への応用のための研究開発機能、研修機能の集積を図る。	プラズマ・リサーチパーク等2地区
しずおか生活産業情報拠点構想(静岡県) (平成6年7月28日同意)	静岡市、島田市等6市5町 (総面積約12万ha)	東海交通の要衝、生活に密接に関連した産業の全国的規模の集積等の特性を活かし、地域に根づき、生活を豊かにする生活産業情報を内外に発信し、かつ地域外からの最先端の生活産業情報の受け皿となる交流機能、様々な生活産業情報の集積から生み出される文化機能の集積を図り、独自の情報を国内外に広く発信するユニークな生活産業情報の拠点を形成する。	静岡地区等4地区
いわき『海洋&エネルギー』交流拠点構想(いわき市) (平成6年9月22日同意)	いわき市1市 (総面積約12万ha)	地域産業を支えてきた海洋とエネルギーに着目し、水産資源増養殖、石炭利用による新エネルギー開発等、地域の特性に根ざした産業を育成するための研究開発機能、これを支援する研修・学習機能、さらに海洋及びエネルギーをテーマとした文化・交流機能の集積を図る。	小名浜地区等4地区
国際貢献都市OKINAWA構想(沖縄県) (平成9年12月3日同意)	沖縄市、宜野湾市、那覇市、糸満市等7市6町4村 (総面積約4.7万ha)	国際貢献に資する各種の国際交流・協力の諸機能や、平和に関する多くの施設の集積等を踏まえ、我が国唯一の亜熱帯地域という特性を活かし、気候、風土等に類似性を有し、また、文化的にも共通性を持っているアジア・太平洋地域への国際貢献を展開する拠点都市として、「平和交流」、「技術協力」等に関する機能整備を図る。	国際平和交流拠点等4地区
北九州市交流・物流拠点都市構想(北九州市) (平成15年8月28日同意)	北九州市1市 (総面積約4.9万ha)	本州と九州、東九州軸と西九州軸が交わる結節点、さらには東アジアとの様々な交流が生まれる玄関口(ゲートウェイ)と位置づけ、空港・港湾等の基盤整備を進め、陸・海・空のネットワークを生かした国際的な広域交流・物流拠点の形成を図る。	周防灘地区等3地区
東北広域国際交流拠点みやぎ構想(宮城県) (平成16年9月28日同意)	仙台市、名取市、多賀城市等4市1町 (総面積約9.8万ha)	東北で唯一の特定重要港湾である「仙台塩釜港」及び東北の拠点空港である「仙台空港」のゲートウェイ機能の一層の充実を図ることで、アジア・太平洋地域を中心として世界に開かれた国際交流拠点地域の形成を図る。	仙台空港地区等2地区